

第 10 節 介護についての本人と家族の意見

1. 介護が必要になった時の暮らし方（問 16×問 34）

【本人】あなたは、介護が必要になった時、どこで暮らしたいですか。

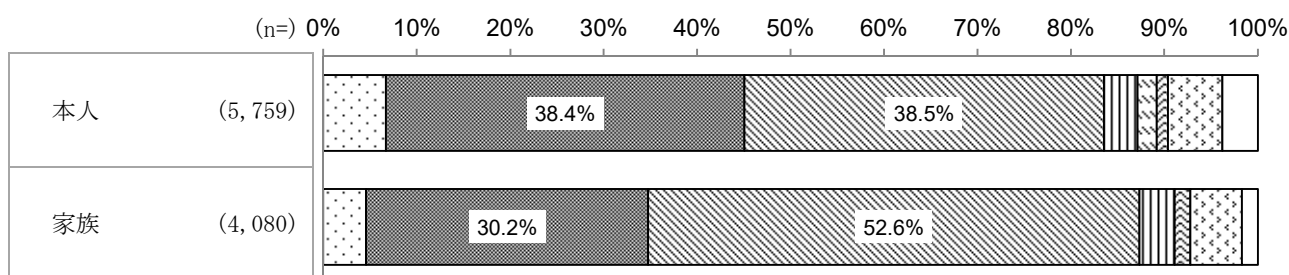
[当てはまるもの 1つに○]

【家族】調査対象者に介護が必要になった時、その方がどこで暮らすことを望みますか。

[当てはまるもの 1つに○]

<図 2-40>

- 介護サービスを使用せず、家族に介護してもらいながら、ずっと自宅で暮らしたい
- 介護サービスを活用しながら、ずっと自宅で暮らしたい
- 介護の度合いが軽いうちは自宅で暮らし、重くなったら特別養護老人ホームなどに移りたい
- 介護の度合いが軽いうちから、民間の有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅などに移りたい
- すでに施設に入所している
- その他
- わからない
- 無回答



介護が必要になった時、どこで暮らすことを望むかについては、本人・家族ともに「介護の度合いが軽いうちは自宅で暮らし、重くなったら特別養護老人ホームなどに移りたい」が最も高かったが、家族の方が 14.1 ポイント割合が高かった。

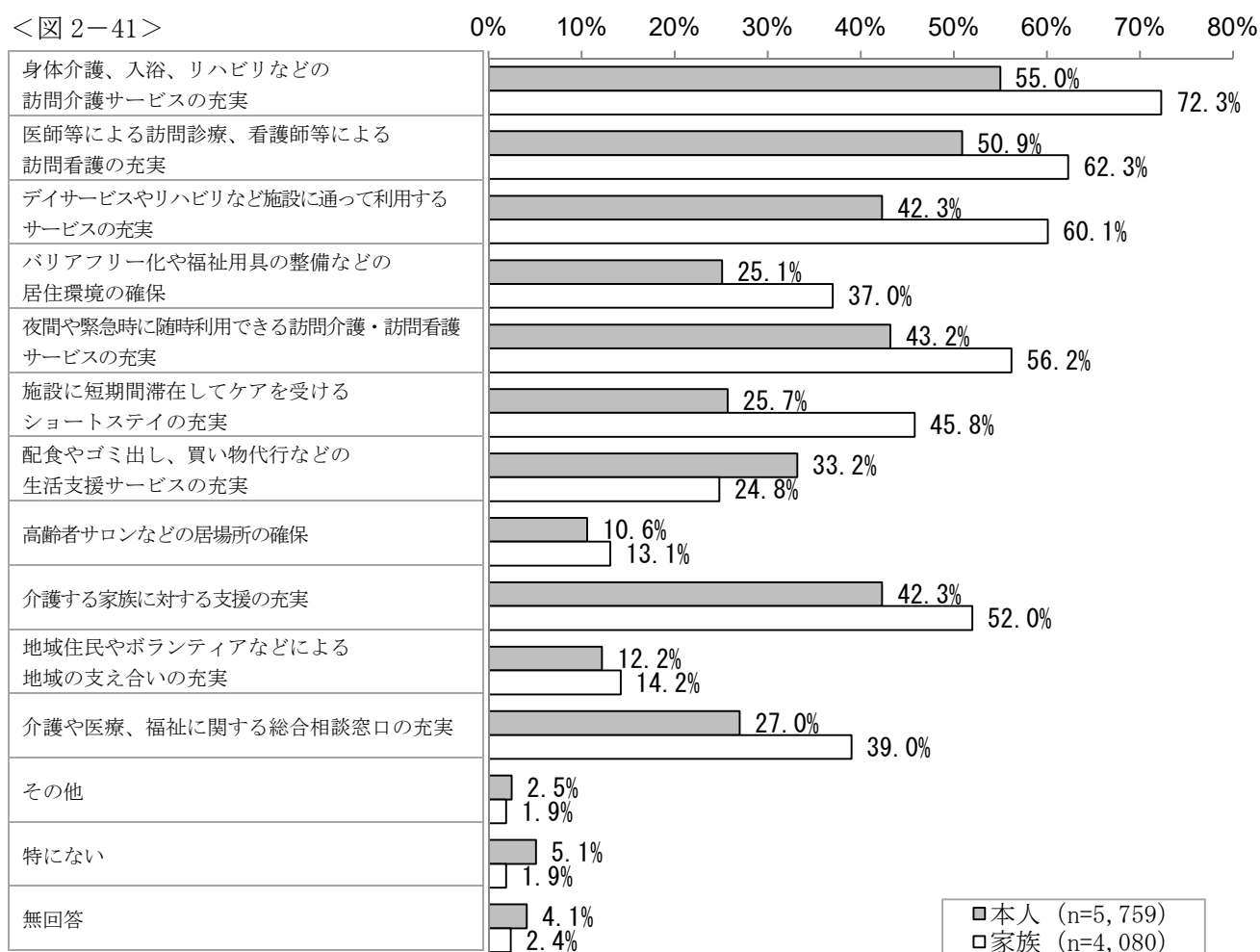
また、「介護サービスを使用せず、家族に介護してもらいながら、ずっと自宅で暮らしたい」と「介護サービスを活用しながら、ずっと自宅で暮らしたい」の合計で比較すると、本人の方が 10.3 ポイント割合が高かった。

2. 介護が必要になっても自宅で暮らし続けるために必要だと思うこと（問 17×問 35）

【本人】 介護が必要になった時、あなたが自宅で暮らし続けるために必要だと思うことは何ですか。〔当てはまるもの すべてに○〕

【家族】 調査対象者が介護が必要になった時、あなたがその方を自宅で介護するために必要だと思うことは何ですか。〔当てはまるもの すべてに○〕

< 図 2-41 >



介護が必要になっても自宅で暮らし続けるために必要だと思うことについては、本人・家族ともに「身体介護、入浴、リハビリなどの訪問介護サービスの充実」が最も高かった。また、「医師等による訪問診療、看護師等による訪問看護の充実」も本人・家族ともに5割以上と高かった。

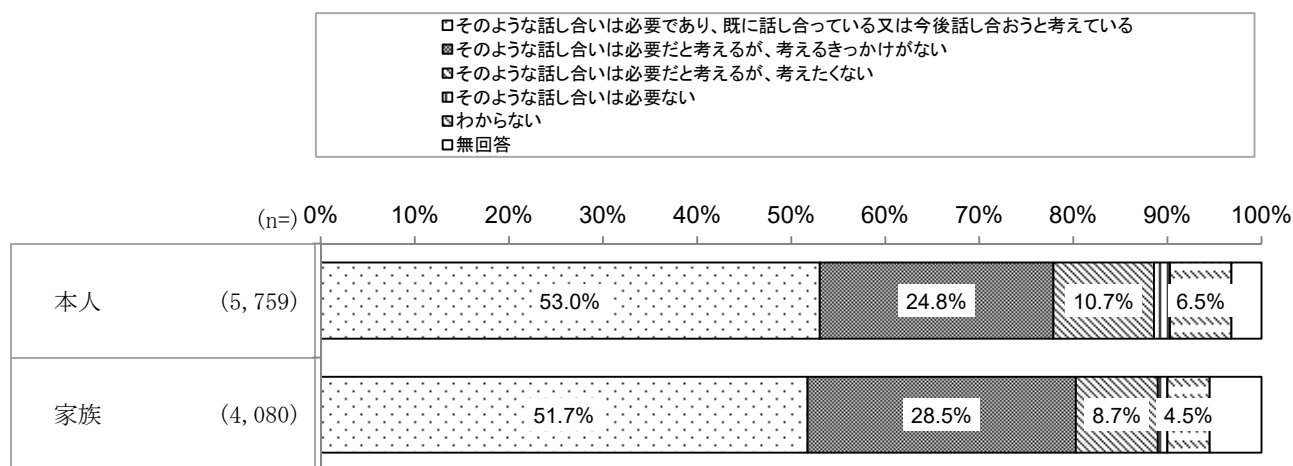
なお、「施設に短期間滞在してケアを受けるショートステイの充実」は本人よりも家族の方が 20.1 ポイント高くなっている。

3. 最期に関する話し合いについての考え（問 18×問 37）

【本人】あなたが、人生の最期にどんな医療やケアを望むのかを家族など信頼できる人と繰り返し話し合うことについて、どのようにお考えですか。〔当てはまるもの 1つに○〕

【家族】あなたが、人生の最期にどんな医療やケアを望むのかを家族など信頼できる人と繰り返し話し合うことについて、どのようにお考えですか。〔当てはまるもの 1つに○〕

<図 2-42>



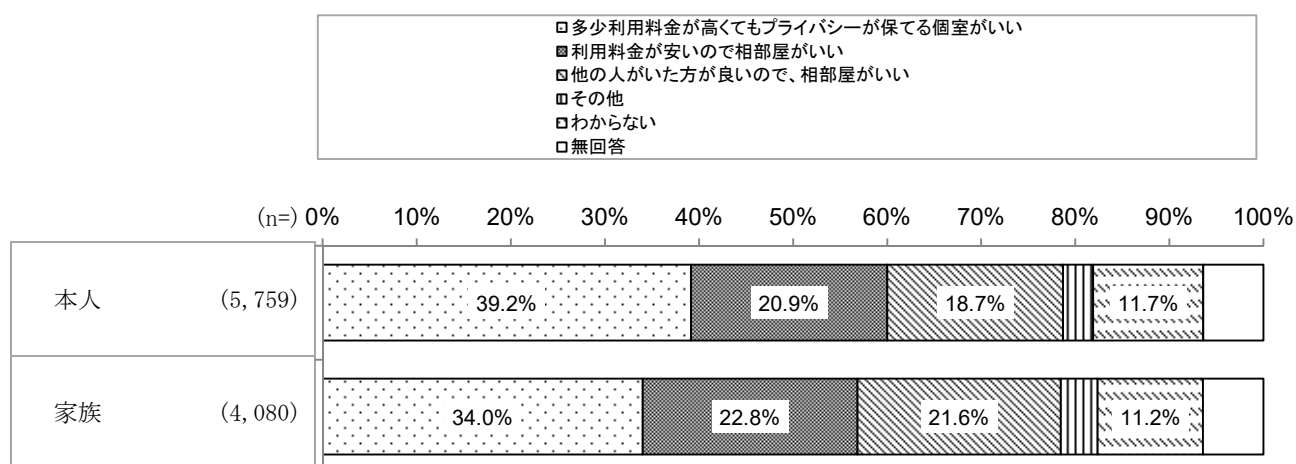
最期に関する話し合いについての考えについては、本人・家族ともに「そのような話し合いは必要であり、既に話し合っている又は今後話し合おうと考えている」が最も高く、どちらも過半数を占めている。

4. 特別養護老人ホームに入所する場合に希望する部屋のタイプ（問 28×問 39）

【本人】特別養護老人ホームに入所する場合、あなたは個室を希望しますか、相部屋を希望しますか。〔あなたのお考えに近いもの 1つに○〕

【家族】調査対象者が特別養護老人ホームに入所する場合、あなた自身は、その方が個室に入所することを希望しますか、相部屋に入所することを希望しますか。〔当てはまるもの 1つに○〕

<図 2-43>



介護が必要になった時、どこで暮らすことを望むかについては、本人・家族ともに「多少利用料金が高くてもプライバシーが保てる個室がいい」が最も高かったが、本人の方が5.2ポイント割合が高かった。

また、「利用料金が安いので相部屋がいい」と「他の人がいた方が良いため、相部屋がいい」の合計で比較すると、家族の方が4.8ポイント割合が高かった。